

令和7年度山口大学入試問題「出題の意図」

試験種別（学部入試：一般選抜 前期日程）

科目（英語）

※注：この出題の意図についての質問・照会には一切回答しません。

[出題の意図]

(I)

英語で書かれたエッセイを題材にして、全体を通して読む力を、すべて英語による問いに答えさせる形で測ろうとした。そのための手法として、そのエッセイ内に空欄を設け、文章全体および空欄の前後からその箇所に入る適切な語を考えさせたり、エッセイ内の英語の一部を別の英語で書き換えさせたりした。

(II)

英語で書かれた小説を題材にして、英語の入試問題としては頻出形式の英文和訳問題を用いて、読解力を問おうとした。今回は特に小説に描かれた複数の出来事の順番を正しく把握できるのかという問いを設けて、正確な読みが出来ているかどうかを測ろうとした。

(III)

英国の大学に留学中の日本人と、その大学の学生との英語による二人の間の学生食堂をめぐる会話を読み、そうした日常的な会話を理解できるかどうかを測ろうとした。同時に、会話内に設けた複数の空欄に入る適切な英語を考えてもらい、英語の発信力も問うことを意図した。さらにこの大問の後半では、その会話を基に、大学宛て、自分たちの企画を認めてもらう依頼の英文を書いてもらうことで、広くコミュニケーション能力があるかどうかを測ることを意図した。